

【別表A(5)－1(公益充実資金の明細)】

1. 公益充実資金の前年度末明細

公益充実資金の前年度末値を確認します。

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	残高
			円	円

2. 公益充実資金の本年度末明細

公益充実資金の本年度末値を確認します。

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末					
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高
0 円		0 円	0 円	251,636,000 円	251,636,000 円
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考
期末配当金	費用	2026	251,636,000 円	円	

3. 公益充実資金の積立内訳、積立基準額の算定値(中期的収支均衡の50%超繰入れ時用)

中期的収支均衡の観点で、50%を超えて繰入れをする際に使用する公益充実資金の各種算定値を確認します。

各資金の明細		期首積立内訳(算定値)	残り必要額(算定値)	支出までの残存期間	活動毎積立基準額(算定値)	積立基準額(算定値)
期末配当金	費用	円	251,636,000 円	16 月	188,727,000 円	188,727,000 円

4. 公益充実資金と公益目的事業費率、使途不特定財産上限との関連値

公益目的事業費率及び使途不特定財産上限との関係で、公益充実資金における必要な値を確認します。

各資金の明細		積立内訳(算定値、公益実施費用額に算入)	取崩内訳(公益実施費用額から控除)
期末配当金	費用	251,636,000 円	
合計		251,636,000 円	0 円

【別表A(5)－2(公益充実資金の明細)】

費用	
特定の事業又は資産取得等の名称	期末配当金
当該活動の内容	当法人は、公益目的事業として奨学金給付事業を継続しており、その主たる財源は大塚ホールディングス株式会社からの株式配当金収入によって賄われています。 特に期末配当金(3月配当)は、受領時期の関係から当年度中には使用できず、翌年度の奨学金事業の重要な財源となっています。 このため、期末配当金を翌年度の奨学金原資として確実に活用するため、公益充実資金として積み立てます。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2026 年 3 月 ～ 2026 年 8 月 月数 (5 月)
所要額の算定方法	期末配当金のうち、公益目的事業費への充当額(86%)を積み立てます。